

視聴覚福祉センターで字幕付きビデオを借りることができます。

ご存じと思いますが、視聴覚福祉センター3階にあるビデオライブラリーの貸出について紹介してみたいと思います。

全国各地にある聴覚障害情報提供施設では、耳の不自由な方々の情報文化センターとして、字幕(手話)付きビデオの製作と貸出業務を行っています。愛媛県では、松山市本町にある視聴覚福祉センターがそのサービスを行っています。

また、センターは、聴覚障害の社会参加の拠点として、様々なサービスを提供しています。学生のときから、また卒業後も積極的に活用されたらよいかと思えます。

夏休み中、近くにお越しのときは、ちょっとセンターによってみられたらどうでしょうか?

学校にも、「ライブラリー総目録」をいただいています。どんなビデオがあるか探してみることもできますよ。

1 貸出対象者

- (1)聴覚障害者
- (2)聴覚障害者関係の団体、学校および施設

2 登 録

貸出は登録制となっています。申し込みを個人または団体での登録が必要です。

利用を希望される方は、まずはセンターの利用者登録申請書に必要事項を記入して提出します。

※身分証明書および身体障害者手帳の提示が必要となります。

そうすると貸出券が発行されます。

3 貸 出

(1)申込

字幕入りビデオカセットテープ等借受申込書に必要事項を記入し貸出券といっしょに提出します。

※郵便やFAXでの申し込みも可能です。

貸し出し中の場合もあるので第2希望も書きます。

※障害の有無・種別によって、貸出が制限されるビデオ・DVDがあります。

(2)貸出巻数

1回3巻以内(DVDは3枚まで)

(3)貸出期間

8日間

(4)貸出方法

窓口で受渡または郵送

(5)料金

無料

※郵便の場合は、返却料金のみ利用者の自己負担となります。

1本(500gまで):145円

2本:145円または170円(重さにより料金が変わります。)

3本(1kgまで):170円

(6)次回貸出

前回のテープの返却後となります。

問い合わせは…

愛媛県視聴覚福祉センター

松山市本町6丁目1番地5号

電話 089-923-9093

FAX 089-923-9224

開館時間 9:00~17:00

休館日

■祝日

■年末年始(12月28日から1月4日まで)

特集 ドラマ・映画の中の聴覚障害

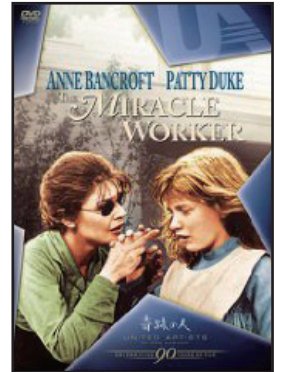
聴覚障害を扱ったドラマ・映画をほんの一部ですが紹介してみたいと思います。御覧になられたい方は、購入またはレンタルしてみてくださいね。ビデオも、興味を持って探してみるとおもしろいですよ。



『アイ・ラブ・ユー』

聾女優忍足さんを起用した作品。娘のいじめの原因がろう者である自分だという事を知った母親が、強く明るく育ててもらおうとろう者劇団に入団し活躍する姿を描く。1999年製作。

この後、『アイラブフレンズ』『アイラブピース』と映画化される。



『奇跡の人』

熱病に三重苦に陥った少女・ヘレン。光を失った彼女に“言葉”という光を与えるべく、女教師・サリバンは努力を重ねていく。

1962年製作アメリカ映画。



『ビヨンド・サイレンス』

ろうの両親をもつ coda(コーダ)のララは、音楽家への道を目指す。父親の猛反対でその関係に亀裂を生む…。

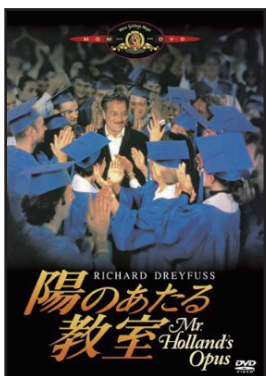
女性の自立と家族の絆を描いた作品。

1998年製作、ドイツ映画



『きれいなおかあさん』

聴覚障害児の息子と2人暮らしの母親が、世間の偏見に負けず、息子に普通の生活をさせようと、働きながら懸命に言葉を教え育てていく姿を描いた、1999年製作、中国映画。

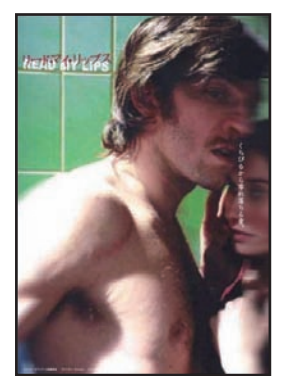


『陽のあたる教室』

作曲家になる夢を捨てきれず、生活の為に音楽教師になったホーランド。待っていたのは音楽に関心のない、やる気のない生徒たち。しかし、子どもたちのもつ可能性に気づき、音楽のすばらしさを教えようと決心する。

最愛の息子の耳は生まれつき聞こえなかった…。

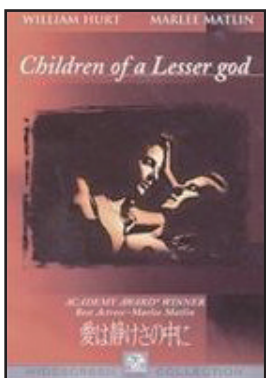
1995年製作アメリカ映画。



『リード・マイ・リップ』

難聴のため人となじめず、秘書の仕事をしてながら孤独に生きる30代の女性が、仕事の助手として雇った前科のある男と奇妙な恋愛関係に落ち、次第に犯罪に手を染めてゆくサスペンス・ドラマ。

2001年製作、フランス映画



『愛は静けさの中に』

聾女優マーリー・マトリン主演。片田舎のろう学校に赴任して来た教師ジェームズはろうの女性サラと出会う。彼女に興味を抱いたジェームズはかたくなに心を閉ざす彼女をなんとか救おうとする。1986年製作、アメリカ映画。

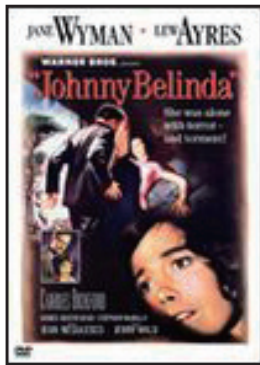


『あの夏、いちばん静かな海』

北野武監督。海辺の町を舞台に、聴覚障害者同士の青年と少女のひと夏の恋をサーフィンを通して描く。

1991年製作。

特集 ドラマ・映画の中の聴覚障害 その2

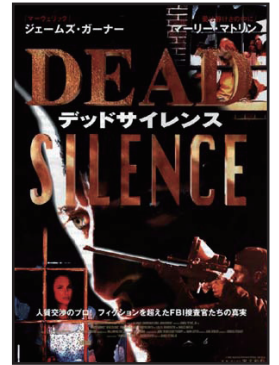


『ジョニーベリンダ』

1948年製作アメリカ映画。
聾啞の女性が聖人のような医師によって人生に目覚めていく姿を感動的に描く。

『デッド・サイレンス』

小説「静寂の叫び」の映画化。聾学校スクールバスのハイジャックから始まるサスペンス。
残念ながら、DVD化されおらず、VHSビデオのみで観ることができます。1996年製作、カナダ映画。



『遙かなる甲子園』

山本おさむによってマンガ化もされていますね。
「甲子園で野球がやりたい！」沖縄の北城ろう学校の生徒たちの高校野球に挑む記録を映画化。
1990年製作、三浦友和主演。VHSのみ。DVD化が待たれます。

『フジ子・ヘミングの奇跡』

16歳で右耳を失聴し、渡欧後も不遇に見舞われながらも、その才能と努力での「魂のピアニスト」と呼ばれるまでになったフジ子ヘミングのの人生を描く。菅野美穂主演。



『どんぐりの家』

山本おさむ作の同マンガのアニメ映画化。1997年製作。ろう重複障害の子どもたちの成長を願い、苦しみながらも歩いていく両親や家族、それを支える人々のひたむきな姿を描く。

『君の手がささやいている 第1章』

同タイトルのマンガのテレビドラマ版。耳の不自由な女性が、手話を通して愛をはぐくんでいく姿を描く。毎年、1章ずつ放映され4章（最終章）まで作られた。



『音のない世界』

もう15年前くらいに、伊予市市民会館で、上映されたっけ？
パリの聾学校に通う聾者たちの日常を追いかけたドキュメンタリー映画。
1992年製作、フランス映画。

『名もなく貧しく美しく』

戦後の混乱期を懸命に生き延びる聾啞者同士の夫婦の姿を描いたドラマ。聾学校の同窓会で出逢った秋子と道夫は、順調な交際を経て結婚。やがて元気な赤ん坊を授かることになるが…。
1961年製作。後に続編『続・名もなく貧しく美しく 父と子』も製作された。



特集 ドラマ・映画の中の聴覚障害 その3

聾者や難聴者を、精力的に取り上げ、映像化している今村彩子さんをご存じでしょうか？聾映像制作は国内・海外を問わず取材に行き、ろう・難聴者を撮り続け、いろんな賞も取られています。

映像を通して、社会にろう・難聴者の理解を広げ、障害によるバリアをなくすように取り組まれています。次のような、作品があります。



「ユニバーシティライフ ～ろう・難聴学生の素顔～」

ろう・難聴学生の講義保障(講義内容の理解のために手話通訳、ノートテイク、パソコン通訳などの保障をつけること)の必要性について理解を広め、ろう・難聴学生の充実したキャンパスライフを考えるドキュメンタリー。

「サラリーマンライフ ～ろう者と聴者が共に働く職場づくり～」

ろう・難聴者が聴者と共に働く職場環境づくりに取り組んでいる会社を取材し、ろう・難聴者と聴者がお互いにスムーズなコミュニケーションを図ることができ、快適に働くことができる職場環境とは何か、そして、その環境をどのように整えていったかを描く。



詳しくは、映像作家 今村 彩子 オフィシャルサイト <http://www.studioaya.com/index.html> を御覧ください。

他に映画では、

- 『風の歌が聴きたい』 1998年制作…聴覚障害の青年と女性の結婚、トライアスロンに挑戦する姿を実話に基づき映画化。
 - 『ティラミス』 2002年制作、香港映画…聴覚障害青年と、ダンサーを目指しながら事故死しゴーストとなった少女の恋愛を描く。
 - 『Dear フランキー』…2004年制作、イギリス映画。夫の暴力から逃れるため、耳の不自由な息子と各地を転々とする母子と、二人の前に現れた男との感動の物語。
- など、まだまだあります。

また、テレビドラマなどでも、聴覚障害や手話などを取り上げた作品が多くあります。

- 『愛していると言ってくれ』 (TBS、1995年) 豊川悦司、常盤貴子ほか出演
- 『星の金貨』 (日本テレビ、1995年) 酒井法子、大沢たかお、竹野内豊ほか出演
- 『続・星の金貨』 (日本テレビ、1996年) 酒井法子、大沢たかお、竹野内豊ほか出演
- 『新・星の金貨』 (日本テレビ、2001年) 藤原竜也・星野真里ほか出演
- 『オレンジデイズ』 (TBS、2004年) 柴咲コウ、妻夫木聡ほか出演
- 『ラブレター』 (TBS、2008年) 鈴木亜美ほか出演
- 『すずがくれた音』 (TBS、2004年)…聴導犬を育てるボランティアの家族のおはなし

みなさんも、探してみたり、夏休みに観てみたりしてみてもはどうでしょう。

書籍紹介

■ 『レインツリーの国』

有川浩／著 新潮社文庫 定価／420円(税込)

文庫版で登場。メールから始まる恋。だけど、彼女は会うのを拒む。その理由は…。架空の恋愛ものであるが、聴覚障害のことがよく分かる良質の小説。おすすめです。



■ 『累犯障害者』

山本譲二／著 新潮社文庫 定価／500円(税込)

彼らはなぜ、罪を重ねなければならなかったのか。障害者の犯罪をめぐる社会の闇に迫る。障害者による事件取材して見えてきた福祉が抱える問題点を追究するルポルタージュ。文庫版で登場。



■ 『手話の世界を訪ねよう』

亀井伸孝／著 岩波ジュニア新書 定価／819円(税込)

文化人類学者の著者による異文化(ろう文化)への案内。言語としての手話のことやろう者のこと、ろう教育のことなど、入門的に手話を学ぶ方や、手話に興味を持つ子どもたちにお勧めです。



■ 『筆談ホステス』

斉藤里恵／著 光文社／発行 定価／1,365円(税込)

聴覚障害を持つ青森一の不良娘が“筆談”だけで銀座NO.1ホステスになった苦闘を描く。直筆の筆談語録も収録。斉藤さん(25歳)は、幼少時の髄膜炎が原因で聴覚障害となり、聾学校での訓練を経て、難聴学級に通われました。手話は上手ではないとのこと。



ニンテンドー DS ソフト 『手話の森』

DS初の手話コミュニケーションの学習ソフトが登場。日常生活に使える手話を学べる。下画面の単語をタッチすると、上画面に3Dモデルでの手話が表示される。その他、こんなことが…

手話を見て、意味を答えるクイズで、覚えた手話をチェック。
"冒険の洞窟"

小説を手話で読み楽しめる"絵本のバルコニー"

災害時・緊急時に必要な手話を確認できる"緊急手話リスト"

手話の成り立ちなど総合的に学習できる"資料室"

発売元: スターフィッシュ・エスディ 監修・協力: (株)日立製作所

定価／5,040円(税込) 詳しくは…www.s-f.co.jp/soft/ds/shuwa



夏休み中の研修会の紹介

松山聾学校公開講座

日時 平成21年8月6日(木) 10:00～16:00

会場 愛媛県立松山聾学校

対象 特別支援学校および特別支援学級の担任、難聴児支援員、聴覚障害児教育に関心のある方

10:00～	10:20～11:40	11:40～	13:00～14:20	14:40～16:00	16:00
受付	基礎学習講座1(選択制)	昼食	基礎学習講座2(選択制)	基礎学習講座3(選択制)	閉会
	①発音発語指導(初級) ②発音発語指導(中級) ③聴覚活用 ④言語指導		①発音発語指導(中級) ②発音発語指導(上級) ③聴覚活用 ④言語指導	①オーディオメータを使って聴力測定をしてみよう。 ②補聴器・手話・情報保障知っておきたい基礎基本 ③発音発語指導(上級)	

発音発語指導 初級 … 息と声、舌の動き、発音器官柔軟化
 中級 … 母音、両唇音、破裂音(タテト・カ行)
 上級 … 摩擦音(サ行)、破擦音、弾音等
 聴覚活用 … 聞こえのしくみ難聴体験、オーディオグラム

四国教育オーディオロジー研究協議会 第6回研修会

とき・ところ 平成21年8月11日(火) 於:徳島県立障害者交流プラザ
 下記講演は 13:00～16:30 要:参加費

講演 『難聴と認知について考える
 —発達障害をあわせもつ難聴児と
 難聴はなくても「きこえ」に苦戦する発達障害児—』

講師 : 岐阜県立岐阜聾学校教諭 小川 征利 先生

「きこえ(聴力)の割に、ことばがのびてこない」「人工内耳をしたのに、思ったほど発音が明瞭にならない」
 このような場合、発達障害をあわせもつ子どもたちであるかもしれません。

学習障害など特別な配慮が必要と思われる児童生徒の割合は、通常学級の場合6.4%と言われています。
 聾学校や難聴学級などに在籍している児童生徒の場合にはもっと多いかもしれません。

ことばを聞いて理解する時、聞こえた音を順番に分析して理解する「ボトムアップ」の過程と、話題や文脈などから判断して適切な言葉を引き出し理解する「トップダウン」の過程の2つがうまく働くことが大切です。
 例えば、難聴のために「ボトムアップ」がうまく働かない時には「トップダウン」を強化することが大切です。また、言語発達が遅れているために「トップダウン」がうまく働かない時には、「ボトムアップ」に関わる環境を整えることも大切です。そして、それらをあわせもつ子どもには、両方へアプローチが必要になります。

聞き上手な小川先生に相談を持ちかけると、問答が始まります。話しているうちに、次第に気持ちは整理され、問題の根本と必須の課題が見えてきます。「問題を整理して考えると、支援のヒントは見つかるよ」と、小川先生はいつも静かに語ります。今回の講演では、難聴と発達障害をあわせもつ子どもと、難聴はないけれど「きこえ」に苦戦している子どもの事例から、「きこえ」への配慮や学習の支援を考えるために、どのような見方や考え方をするとよいかのお話が伺えます。

私たちが昨日まで行ってきた授業を見直し、明日へとつながる新しいアプローチ方法を探し始める良い機会になるかもしれません。